

2025

町屋JAZZ歳時記

ウィズ スtrings 特集

5月21日(水)

午後6時30分開演
(30分前開場)

ムーブ町屋 ムーブホール

—— 全席自由 ——



気軽にジャズを楽しんでいただけるよう
毎年シリーズでお贈りするJAZZ音楽会。
トロンボーン奏者の中路英明が、トークを
交え魅力的なジャズの世界へ誘います。
6回目の今回は「ウィズStrings
特集」！過去最大人数でお送りする
迫力あるサウンドとともにジャズ
Stringsの魅力を存分
にお楽しみください♪

出演：中路英明 (Trombone・ナビゲーター)、高瀬龍一 (Trumpet)、近藤和彦 (Alt Saxophone)、井上祐一 (Piano)、
本川悠平 (Bass)、田村陽介 (Drums)、maiko (Violin)、Yui (Violin)、田中詩織 (Viola)、平山織絵 (Cello)

入場料

2,000円

ACC友の会会員 1,500円

ACC友の会インターネット会員 1,300円

※未就学児の入場はご遠慮ください
※購入後のチケットのキャンセル・変更、紛失による
再発行はできません

会場

ムーブ町屋

〒116-0002 荒川区荒川7-50-9 センターまちや3階
TEL:03-3819-7761 FAX:03-3819-7763

アクセス>> 東京メトロ千代田線・町屋駅0番出口より徒歩1分
京成線・町屋駅より徒歩1分
都電・町屋駅前駅より徒歩1分

チケット
発売日

3月19日(水) 10:00から(電話予約は15:00から)

チケット
取扱い

町屋文化センター

窓口：休館日を除く9:00~17:30

TEL :03-3802-7111

※町屋文化センターの電話予約はACC友の会現金・口座会員のみ

ACCチケット購入サイト

<https://piagettii.s2.e-get.jp/accarakawa/pt/>
(←左記の二次元コードからもアクセスが可能です)



主催・問合せ:ACC(公財)荒川区芸術文化振興財団 03-3802-7111 共催:荒川区

2025 町屋 JAZZ 歳時記

ウィズ スtrings 特集

出演アーティスト



中路 英明 (Trombone、ナビゲーター)

京都生まれ、高橋達也と東京ユニオン、オーケスタ・デ・ラ・ルスを経て、現在は角田健一ビッグバンド、熱帯JAZZ楽団、サルササインゴサの他、向井滋春、森山威男、山下洋輔、松岡直也、つのだ☆ひろ、塩谷哲、サイゲンジ、伊藤ふみお、渡辺真知子、ウィリアムス浩子など、様々なバンドやセッション、レコーディングで活躍中。作・編曲家としても国内外で高く評価され、熱帯JAZZ楽団、サルササインゴサを始め多数の演奏団体に作品を提供している。オリジナル曲「オバタラ」、「ミ・ティエラ・ナタール」はロス・アンジェルスやプエルトリコのFMヒットチャートでも1位を獲得、ラテンジャズを代表する作品として海外でもアレンジ譜が出版されている。自己の活動ではラテンジャズバンド「オバタラ・セグンド」、伊藤志宏とのデュオ「泉座」、その他ジャズコンボやビッグバンド、吹奏楽など多岐に渡る。これまでにサンタナ、シカゴ、ティト・プエンテ、トゥーツ・シールマンス、ボブ・ミンツァー、リッチー・コール、パキート・デリヴェラ、アルトゥーロ・サンドバル、デイブ・バレンティン、デイブ・サミュエルズ、スライディング・ハマーズ、ジミー・ボッシュなど多数の海外・国内アーティストと共演。国連平和賞、日本レコード大賞特別賞など受賞(オーケスタ・デ・ラ・ルス在籍時)。

高瀬 龍一 (Trumpet)



日本を代表するジャズ・トランペッター福原彰氏に師事。福原氏没後結成された「福原彰メモリアル・オーケストラ」に参加しプロ・デビュー。エレクトリック・マイルスを探求するバンド「スター・ピープル」を結成、イムズ・ジャズ・バンド・コンテストでグランプリを受賞。初リーダー・アルバム「Is Not Here」、「Turn Around」を発表し各方面から好評を得る。

2023年、カウント・ベイシーの音楽に特化した「高瀬龍一ビッグバンド」を立ち上げ、毎回の公演が満席、躍進を続けている。

近藤 和彦 (Alt Saxophone)



山梨県甲府市出身。大学在学中、山野ビッグバンドコンテストにて最優秀ソリスト賞を受賞。在学中よりプロとして活動を始め、宮間利之、松岡直也、高橋達也、菊池ひみこ、向井滋春、佐山雅弘、村田陽一、熱帯JAZZ楽団、小曽根真、

エリックミヤシロなどのバンドに参加。現在、自己のグループ、渡辺貞夫、守屋純子、Mark Tourianなどレギュラーバンドやセッションなどで国内外を問わず活動。昭和音楽大学ジャズコース講師。SaxをPhil Woods、Dick Oattsに師事。2019年Gonzalo Rubalcaba (p) & Aymée Nuviola (vo) の公演に日本人で唯一参加しその時ライブレコーディングされたCD「Live At Blue Note Tokyo」が2021年第63回グラミー賞のノミネート作品となる。そのアルバムの中のソロがアメリカの第42回Annual Jazz Station Awards The Best Jazz of 2020のSoprano Sax 部門に個人的に選ばれる。

井上 祐一 (Piano)



北海道大学ジャズ研究会で本格的にジャズピアノを始め、卒業と同時に地元のジャズクラブ等で演奏活動を開始。東京に進出後、猪俣猛(Ds)、大友義雄(AS)等と共演、小林陽一(Ds) & グッドフェローズ、大坂昌彦 & 原朋直クインテット等に参加し、デルフィーヨ・マルサリス(Tb)、ニコラス・ペイトン(Tp)、チャック・フィンドレー(Tp)、エリック・マリエンサル(AS)等、海外ミュージシャンとも多数共演する。1995年初リーダー作「マイ・ビバップ」を発表。2013年には6枚目のリーダー作「ザ・コア」を発表した。現在は自己のトリオの他、大友義雄バンド、向井滋春バンド等で活躍中。

本川 悠平 (Bass)



早稲田大学入学後、同大学オーケストラに所属し、コントラバスを志賀信雄氏に師事。その後、早稲田大学モダンジャズ研究会に入部。2007年～2009年、椎名豊トリオのメンバーとして東京フィル

ハーモニー交響楽団と「Rhapsody in Blue」を共演、絶賛を博した。2018年、ASABA Trioのメンバーとしてデトロイトジャズフェスティバルに出演。モントレージャズフェスティバルに能登、横浜ジャズプロムナードをはじめ多数の国内外のジャズフェスティバルの出演や、韓国・ギリシャでの公演など、活動は国内外を問わず多岐に渡る。現在、自己のトリオの他に、大坂昌彦バンド、谷口英治カルテット、川嶋哲郎トリオ、井上祐一トリオ、堀秀彰トリオ、原川誠司クインテットをはじめ、様々なバンドのレギュラーメンバーとして活動中。

田村 陽介 (Drums)



東京大学でJazz研に入部、在学中より演奏活動を始め、2006年より自らが率いるセクステットの活動を開始、各方面より好評を博す。翌年、福本陽子4で横浜

ジャズプロムナードのコンペティションにてグランプリ、2010年に二見勇気3で横浜ジャズプロムナードのコンペティションにてジャズクラブ賞・洗足学園大学賞、浅草ジャズコンテストにて金賞を受賞。その後、澤田一範・井上祐一・紙上理・宮之上貴昭・小林桂・宮下博行・山岸笙子氏などのグループで演奏・録音など、演奏活動を広げている。2022年、コード楽器のいない編成のカルテット「コードレスカルテット」にゲストシンガー西村知恵を迎えて、初リーダーアルバム「love calls」をリリース。

maiko (Violin)



京都市立芸術大学音楽学部卒業。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏に師事。2001年からの8年間で2,000回を超える圧倒的な数のライブパフォーマンスを行い、独自のジャズスタイルを確立する。第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年横浜ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。現在首都圏のライブハウスを中心に自身がリーダーのライブ活動をするのと同時に、多くのバンドやセッションに参加。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。2024年9月、活動開始25周年記念アルバム「Reminiscence」をリリース。

Yui (Violin)



東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学卒業。在学中に同芸大メンバーにより「Vanilla Mood」を結成。avexよりメジャーデビューし、3枚のアルバムをリリース。同ユニットにてNHKや

日本テレビの番組にレギュラー出演する。2011年よりソロ活動を開始し、フラメンコポップユニット「soluz」、ジプシークラシックをテーマにした「Hyclad」など、多数のユニットを結成し、CDをリリース。全国各地で精力的に演奏活動を行う。クラシックをはじめ、ジプシー音楽などの情熱的で叙情的な民族音楽を得意とし、solo violinistとしても様々なジャンルのコンサートに出演。現在は2児の母として、自身の経験を生かし子ども向けコンサートなども展開している。

田中 詩織 (Viola)



世界的にも珍しいジャズ／ポップスなどで即興演奏を行うヴィオラ奏者。東京音楽大学在学中よりオーケストラをはじめとする演奏活動を開始。卒業後、演奏活動の傍ら音楽療法／幼児リト

ミックを学ぶため国立音楽院へ入学し首席で卒業する。在学中ジャズピアニストの今田勝氏と知り合い、アドリブ演奏への興味を持つ。自身のプロデュースで1st Album「The Viola」をリリース。現在は自身のソロ活動の他、J-POPアーティストやCMなどテレビ出演やスタジオワーク、ライブサポートでは武道館、全国ドームをはじめとするコンサートで、ヴィオラでのアドリブソロが好評を博すなど、幅広く活動している。

平山 織絵 (Cello)



洗足学園音楽大学卒業後フリーのチェリストとして活動していたが、ジャズトリオメンバー奏者の向井滋春氏が率いるジャズ・ストリング・カルテットへの参加を機にジャズへと傾倒。アドリブソロやベースラインを独学で学び、都内ジャズライブハウス等でライブ活動を展開。リーダーユニット「SJS(スーパー・ジャズ・ストリングス)」の初CD「Footprints」はスイングジャーナル・ゴールドディスク大賞にノミネートされる。D23 Expo Japan 2015オープニングコンサートでストリングスリーダー & 編曲を、アニメーション「YKK AP公式/アニメ『パティシエのモンスター』」の作曲 & 演奏等を担当する。他数々のアーティストのレコーディングやコンサート、映画やドラマのレコーディングに参加。